座談会

六月十三日　産業厚生会館大会議室

六月十三日、振興協議会では、先の報告事項をさらに実のあるものにするため、商店会連盟や商工会青年部、婦人部などの十五人の皆さんから集まってもらい、これからの振興対策について語ってもらいました。

どう生かす提言

出席者

司会　河内新平振興協議会長

発言者のみ、顔写真と発言事項を掲載させていただきました。なお、文中の敬称は略させていただきます。

花岡ハツエ（防水布店）　袖山　祐吉（食料品店）　佐藤喜八郎（メガネ卸・小売店）　加藤千恵子（婦人衣料品店）
佐藤　正雄（酒店）　小林　正栄（呉服店）　大竹　清（衣料品店）　竹内　敏朗（婦人衣料品店）
中村　宏泰（青果店）　高井　ミイ（酒店）　保倉　芳裕（家電販売店）　関根　花雄（婦人衣料品店）　赤塚　昌栄（衣料品店）　河内　新平（振興協議会長）

"じれったさ"の中で

司会　まず皆さんがたが、お店を経営していての悩みや商店街での問題などを、お話しください。

佐藤（正）　お客さんの意識が変わってきていることはよくわかりますが、旧態依然とした商売しかできずにいます。

勉強不足から若い人が店に来ると、もうオドオドしたりしてね。いろいろな機会に助言や指導をしてもらっていますが、それらをどう生かすか、もがき苦しんでいる毎日です。

保倉　私たちのところは中央通り・曙町商店連合会としていますが、国道で分断されているために組織活動ができにくい状況です。

特に曙町は人通りが少なく、みんなで集まっても、何をしたらよいのか具体策は浮かびません。

中村　魚町では、まち並に非店舗の家屋もあり、商店が連珠した形態をつくるのは難しい状況です。

このような中で、今の場所でこのまま続けていくべきか、消費者の集まる所へ移転するべきか、なかなか決断を出せずにいます。

個店の努力はどこまで

佐藤（喜）　五ノ町では消費者の立場で「どうすれば満足していただけるか」を、機会あるごとに話し合い、考え続けてきました。

その結果が、店舗の改装、商店街としての駐車場、歩道、アーケードの整備という、具体的な形で現れてきているわけです。

しかしながら、「どこまで努力すればよいのか……」。私どもにも限界があるわけで、市でも、白根商店街がなくなった場合のことをもっと真剣に考え、適切な振興施策を講じてもらいたいと思います。

大竹　みなさんの所は人の流れもあるからまだよい方です。北部商店街は、まず人をどのように集めるか……。そのためには、核になる店舗づくりと、共同駐車場がどうしても欲しい。ただ先般、石川県の松任（まつとう）市を視察した際、「商店街ぐるみで店舗改装などの近代化事業をやってきたが、売り上げは横ばい」といった話を聞きました。こうした実情を耳にすると、難しい問題と考えざるを得ません。

まだ、何かをすれば…

司会　今回、協議会の報告会では、いろいろな問題点や課題などが提言されましたが、これらを踏まえて、今後の商店街づくりについて、お考えを聴かせてもらいたいと思います。

竹内　ベーカリー店や衣料品店など、他市町村の経営者が、商店街の非商店家屋を借りて、店を出すケースが多くなっています。

こうした傾向は、まだ何かをすれば、白根でも商いができることを、裏づけていると思います。

ですから、私どもも、非商店と十分に話し合い、人の集まる街区へ積極的に立地し、商店密度を高め、中心ゾーンを設定していかなければならないと思います。

加藤　それと、やはり駐車場がほしいですね。それぞれの商店街では努力して、駐車場スペースを確保していますが……。

せっかくお客さんが来てくださったと喜んでも、パトカーが巡回してくると、サーッとどこかへ行ってしまいます。

後継者育てが不可欠

花岡　私たちは、後継者づくりにも目を向けていかなければ、これからより深刻な状況に、なるのではないでしょうか。

高井　私もその感を強くしています。子供たちが果たして家業を継いでくれるだろうかと、心配している親も多いと思いますよ。

赤塚　確かに近代化、活性化を図っていくためには、若い行動力が欠かせません。私も、若い考えを引き出すように努めてはいるのですが、今の環境では子に継がすことがよいものかどうか判断に苦しみます。

みんなの力で、若者が明るく生き生きと住めるまちを、つくっていきたいですね。

袖山　若い力ということで、自分も青年部の一員として、いろいろな事業、活動に参加していますが、市でも若者が定住できるよう、いろいろな面でのテコ入れを、お願いしたいと思います。

市民みんなの問題

佐藤（正）　お客さんの流出を止めるポイントは、やはり個店の体質強化と、私は思うんですが。

関根　どうすればお客さんの要望に応えられるか――。これにはハード面とソフト面の、二面から考えていく必要があると思います。

ハード面は店舗改装などですが、私自身は、もっとソフト面からお客さんに、訴えることも大事じゃないかという気がします。

たとえば、大売り出しや行事など、市の広報紙などから積極的にPRしてもらい、流出のことばかり考えるより、もっとお客さんを引き寄せる工夫はどうでしょう。

小林　基本的には個店の努力だと思います。「五ノ町商店街での取り組みの輪を、もっと広く波及させ、そして大きな力を持って、まちづくりができればなあ……」と、考えています。

今回の報告会での提言でも、商業者全員の問題として、みんなで検討し、そして考え、協力し合って、振興への意識を高めていくことが大切だと思います。また、住みよいまちづくりは、商業者だけの問題ではなくて、市民全員の願いなわけですから、私どもも、いろいろな人たちと話し合っていくべきではないでしょうか。

話し合うことで道が

司会　最後に協議会などに望むことがありましたら……。

佐藤（喜）　私どもと市とが話し合う、橋渡しをお願いします。

市がどのように考え、商業振興あるいは、市街地周辺でのまちづくりをしようとしているかを、知りたいわけです。

ただ漠然としていたのでは、私どもがどこまで協力してよいのかわかりません。

お互いの立場を理解し、協調し合うためにも、このことをぜひ実現してほしいと思います。

司会　本日はご苦労さまでした。

約二時間の座談会のまとめを、要約して掲載しました。

＊　＊　＊　＊

白根市基本計画　商業

市では商業振興を、総合計画の中で次のように構想しています。（一部抜すい）

●商業振興の基本的方向

本市の商業は、厳しい経済環境の中から市街地中心部等の商店街の整備に併せ、道路、駐車場等を整備し、消費者の購売力を引き止め、さらに周辺市町村消費者の購売力を吸収することができる、「魅力ある商店街」づくりを促進します。また、各商店においては経営の合理化、近代化に併せて、店員教育の徹底を図る必要があります。

●商業基盤の整備

本市の都市形態は、田園都市から調和のとれた産業都市として発展してゆくものと予測されますが、市街地中心部の商店街の整備をはじめとする商業の振興は、都市としての要件です。

地域消費者周辺市町村の消費者の購買力を吸収する魅力ある商店街づくりは、今後他産業の関連性においても必須要件です。

このような観点から、前記事業とともに、本市の商業の振興施策は、既成商店街、特に中心商店街の改善と経営の合理化、近代化について商工会との連けいを密にして、商店街診断、経営診断などの必要な指導を行うとともに、店舗の改善、合理化に対する金融助成措置についても、対応していくことです。

●商業振興対策

①都市計画事業、都市再開発と併せ、計画的に近代的商店街建設の促進。②共同店舗化を推進し、商店街振興組合など組織機構の整備促進を図り、商品券の発行、売り出し、従業員対策財務管理等合同事業の指導援助③商店街、および個店の近代化のため、融資制度の強化充実を図る。④商店街の近代化促進のため、商店街診断、および巡回指導のほか各種相談コーナーを設置する。

これらを遂行するためには、各商店営業者の自覚と協調性に基づく、商店街活動と個店の経営努力に期待するところが誠に大きいものがあります。また、市や商工会でも指導体制を強化し、国、県の指導助成を導入して、特に小規模経営者のため、税務、経理、経営、その他の経営改善事業を強化します。